

繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スモノ  
トス但シ其ノ給付ヲ始メタル日前一年以内ニ於テ實  
期間三月以上被保險者タリシ者ニ限ル

第二十七條中「第二十八條第二項」ヲ「第二十八條第三  
項」ニ改ム

第二十九條中「掲グル者」ノ下ニ「ニシテ病院又ハ診療  
所ニ收容セラレタルモノ」ヲ加フ

第三十一條中「内地」ヲ「内地(樺太ヲ含マズ)」ニ、「第  
十八條第二項、第十九條、第二十條、第二十三條及第  
二十四條中地方長官トアルハ」ヲ「船員保險法第二十八  
條第二項及第二十八條ノ三ノ行政官廳ハ厚生大臣トシ  
第二十三條第一號及第二十四條中地方長官トアリ竝ニ  
第二十三條第二號及第三號中厚生大臣若ハ地方長官ト  
アルハ」ニ改ム

第三十三條ノ二 船員保險法第二十八條第三項ニ規定  
スル者以外ノ被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ船  
舶所有者ノ負擔割合ハ其ノ保險料額ノ五分ノ三ト  
ス

第三十六條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告  
知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保  
險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキ又ハ納付シタ  
ル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額  
ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ關  
スル納入ノ告知又ハ納付ハ其ノ告知又ハ納付ヲ爲シ  
タル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料  
ニ對シ納期ヲ繰上テ之ヲ爲シタルモノト看做スコト

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上テ納入ノ告知又ハ納付  
ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ  
旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第六十條中「第一章乃至第四章」ヲ「第二章、第二  
第三章、(日本醫師會會長、日本齒科醫師會會長、日本藥  
劑師會會長、道府縣醫師會會長、道府縣齒科醫師會會長又ハ  
道府縣藥劑師會會長ニ關スル部分ヲ除ク)、第四章」ニ改  
ム

第八十一條中「又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ  
規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助」ヲ削除  
第八十三條 削除

附則  
本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十  
八年法律第二十七號中第二十八條ノ三乃至第二十八條  
ノ六ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同  
年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條、第六十一條及第八十三條ノ改正規定竝ニ  
第三十三條ノ二及附則第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘  
ラズ昭和十八年法律第二十七號中第三十二條第一項及  
第三十三條ノ改正規定竝ニ第六十條第二項及附則第三  
項ノ規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年法律第二十七號附則第三項ノ場合ニ於テハ  
第二十一條、第八十一條及第八十三條ノ改正規定ニ拘  
ラズ仍從前ノ例ニ依ル  
第十七條ノ二ノ規定ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ昭和十六  
年十二月八日ヨリ之ヲ適用ス

船員保險法中改正法律の一部施行期  
日の件公布

日  
の  
件  
公  
布

船員保險法中改正法律の一部施行期日の件は昭和十  
八年三月三十日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保險法中改正法律の一部施行  
期日ノ件 (昭和十八年三月二十九日  
勅令第二百三十四號)

昭和十八年法律第二十七號ハ第三十二條第一項及第三  
十三條ノ改正規定竝ニ第六十條第二項及附則第三項ノ  
規定ヲ除クノ外昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但  
シ第二十八條ノ三乃至第二十八條ノ六ノ規定實施ノ爲  
ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同年三月三十一日ヨリ  
之ヲ施行ス

國民健康保險法施行規則中改正の件  
公布

國民健康保險法施行規則中改正の件は昭和十八年三  
月二十三日付官報を以て左の通り公布せられた。

國民健康保險法施行規則中改正ノ件

(昭和十八年三月二十二日  
厚生省令第六號)

第五條 削除

第八條中「組合設立ノ經過」ヲ「組合設立ノ經過及」ニ  
改メ「及被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫  
師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍」ヲ削ル